

令和6年度『かきぞめコンクール』表彰式 代表児童生徒のことはば

令和7年2月9日（日）三河教育会館にて

【小学生代表:小6最優秀賞】 豊田市立野見^{のみ}小学校 6年 村瀬^{むらせ} 結香^{ゆいか}さん

この度は、このようなすばらしい賞をいただき、嬉しい気持ちと感謝の気持ちでいっぱいです。私の通う習字教室は冬休みの間、一回しかレッスンがないので、いつもお姉ちゃんに勉強の合間を縫って教えてもらっていました。今回の字(満天の星)は、バランスが難しくて思うように書けず、字が崩れてしまい悔しくて泣けてしまったこともありましたが、練習するうちに納得のできる一枚を仕上げることができたと思います。

私はいつも習字を書くときに心がけていることがあります。それは、言葉の意味を考えて気持ちを込めながら書くということです。今回は、夜空に輝いたくさんの星を思い浮かべながら書くようにしました。そうすることで、見る人に感動を与えることのできる字が書けるようになると思うからです。

これからも、たくさんの人の心を動かすことのできる字が書けるように、がんばっていきたいと思います。今日は、このような表彰式を開催していただき、ありがとうございました。



スピーチをする村瀬さん

【中学生代表:中3最優秀賞】 豊田市立井郷^{いさと}中学校 3年 杉渕^{すぎぶち} 柊^{しゅうじ}二さん

この度は、最優秀賞に選んでいただき誠にありがとうございました。

私は、小学校一年生から最優秀賞を目標に本コンクールに応募していました。そのため、最後の挑戦で初めての最優秀賞受賞の知らせを聞いたときは、信じられない気持ちでいっぱいでした。

書道を始めたばかりのころは、字を書くことが好きにはなれず、うまくかけず途中で投げ出し、家族に八つ当たりすることもありました。ですが、満足できる字を書けた時、私の字をほめていただけることが増えるにつれ、嬉しさが増し、書道の楽しさに夢中になっていきました。

今年は受験生のため例年よりも時間が取れず、また課題も難しいため、練習が深夜に及ぶことも多々ありました。ですが、一画一画に集中して、気持ちが途切れないように書きあげました。

私は、本コンクールを通じて、努力の大切さ、思うような結果が出なくても前を向いて諦めない心、本当に負けてはいけない相手は自分自身であることに気づくことができました。

また、いつも応援して下さる学校や書道教室の先生、友人、家族、そして空からいつも見守ってくれ筆の持ち方から努力の大切さを教えてくださった茂子先生に感謝をし、これからも「不屈の精神」で、前へ前へと進んでいきたいと思います。

最後になりましたが、主催いただいた愛知教育文化振興会の皆様、審査員の先生方、誠にありがとうございました。



スピーチをする杉渕さん